

久見崎次郎次郎踊り



久見崎次郎次郎踊りは、薩摩川内市久見崎町に伝わる郷土芸能で、地元の農業や漁業など豊作・大漁祈願を兼ねて久見崎諏訪神社の境内において、昔の田起こしの風景を面白おかしく表現する。現在では、地域のまちおこしの一環として滄浪校区活性化委員会のメンバーが保存会と一緒に継承している。

配役：テチヨ（おやっどん）
次郎（息子）
カカァ（かあちゃん）
コッテ牛（農作業用の牛）

特徴：毎年、配役が変わる。
一通りのあらすじ以外は、その世代のアドリブを交えて構成する。
役者と観客は会話できる。
観客はコッテ牛の暴走に気をつける。
次郎次郎踊り終了後、五穀豊穡のもち投げを行う。

【奉納・披露】

日程：毎年3月第1日曜日 諏訪神社 春の祭典終了後（13時30分頃開始）

場所：諏訪神社境内（久見崎町）